

年頭のご挨拶

新しい時代に向けて さらに飛躍するために 改革を推し進めていきます

新

しい年、2016年がや
つてまいりました。跡見
学園は昨年、学園創立140周
年、大学創立50周年という節目
を迎えたわけですが、次の時代
に向けて一層飛躍するために、
今年は「勝負の年」だと言える
でしょう。そのためには教育環
境のさらなる整備・充実が不可
欠ですが、まずは現在の学園の
組織・運営を見直すことからス
タートしたいと考えています。周
知のように、2015年度に学
校教育法が改正され、大学は学
長主導の下、組織・運営の見直
しを迫られました。同時に、教
育情報を積極的に公開すること
も求められるようになりました。

園の組織・運営について評価して
いただく所存です。同時に、理
事長・学長が推し進める教学改
革に対して、忌憚のない意見を
述べていただくために、2016
年度から他大学の学長・学部長
経験者などを教学監事として招
聘する予定です。外部の第三者
の眼を組み入れて、学園全体の
組織・運営を改めて評価。その
結果を広く社会に公開すること
で、大学としての説明責任を果
たしていきたくと考えています。

中高は新教育プログラムが 始動。大学も新学部へ続く 改革がスタート

一層厳しさを増す教育を取り
巻く環境を乗り切るためには、
中高大ともに教育環境の整備・
充実をしていかなければなりま
せん。中高では来年度から、教
育や人材育成の狙いを示したグ
ランドデザインに基づく新しい
教育プログラムが始まります。
生徒全員が高い学力を身につけ、
各自の目標を達成できるように
「習熟度クラス」を導入。同時に、
これからの時代を生き抜くたく
ましい人間力を養うために、跡
見の伝統である茶道、華道、箏
曲などを学び、品格ある女性に
ふさわしい教養を高める教育に
も力を入れていきます。

一方、大学は2015年度に
文学部、マネジメント学部につ
く第3の学部として「観光コミ
ュニティ学部」を開設しました。
観光とコミュニティをキーワー
ドに、地域を、日本を活性化さ
せ「元気にする」、未来志向の
学部です。幸い、開設初年度か
ら目的意識の高い、前向きな学
生が数多く集まりました。学生
たちの瑞々しい感性が、これま
でにない画期的なプロジェクト
を生み出してくれるのではと、
大いに期待しています。



跡見学園理事長
山崎 一穎